

# 竹內街道

# **takenouchi – kaido**

# Vol.16

〒583-8555

# 大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション学類 理学療法学専攻内 竹羽会

発行責任者：太田 幸子  
三 佐 喜 光 香

編集者：藤堂 恵美子

# 卷頭言

うららかな好季節を迎え、竹羽会の皆様はお変わりなく健やかにお暮らしのことと思います。

平成24年度は診療報酬・介護報酬の同時改定があり、慌ただしい日々を送っておられる方もおられるかと思います。今後は急性期病院での在院日数が更に短縮される方向に進むと聞き及び、切れ目がないリハビリテーションの提供が一層重要なだろうなと思っています。短期間で確実に効果を上げる理学療法、言うは易く行うは難しいですが、今後求められる部分になるかと思います。

さて私事ですが、当院にも久しぶりに竹羽会会員の新入職員を迎えることができました。ここ数年、実習施設に就職する卒業生が増えているように感じています。実習中、また就職してからの先輩後輩の上下の関係やサポートを考えると、竹羽会の果たす役割は大きなものになると思います。同じ卒業生同士、在学中の面識は少なくとも、竹羽会を通して上下の繋がりができるることはより働きやすい環境を作るためにも必要ではないかと思います。繰り返しになりますが、少ない会員数の中でより密接な関わりを持って行けることが竹羽会の良いところなのかなと実感しております。

これからも素敵な会を作っていくために、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

竹羽会 副会長 灰方 淑恵 (7期生)  
(藤本病院)



2012年3月23日 卒業記念パーティーにて  
当院に就職される期待の新人さんと共に

# 第16回竹羽会研修会報告

日 時：平成23年11月26日（日）15:00～17:00 場所：エル大阪 7階708号室  
講 師：史野 根生先生（大阪府立大学）、小柳 磨毅先生（大阪電気通信大学）  
参加者：82名（会員41名、非会員41名）



竹羽会より記念品を  
お渡しさせて頂きました

## 史野根生教授の御退官に添えて 大阪電気通信大学医療福祉工学部 小柳 磨毅

平成10年からの永きにわたって、短期大学部を含めて大阪府立大学で整形外科学やリハビリテーション医学を講義された史野根生教授が、本年の3月をもって退官されることとなりました。大変僭越ですが、人生の師と仰ぐ史野先生の私が知る御業績のごく一部を紹介し、理学療法士教育への御貢献に感謝したいと思います。

私が昭和59年に理学療法士となって、初めて勤務したのは史野先生のおられた大阪大学医学部附属病院でした。スポーツ医学の知識はほとんど皆無であった小生は、幸運にも診察室で史野先生から直々にLachman test をはじめ、スポーツ傷害膝の病態や検査手技を教えていただくことが出来ました。「コツン」というend point を触知できた感動は未だ忘れがたく、以来、30年近くにわたって実に多くのことを先生から教えていただいています。

1987年にサンフランシスコで開催されたアメリカスポーツ整形外科学会（AAOSM）は、私の初めての海外旅行でもありました。カルチャーショックとコンプレックスから身を縮めるようにして学会発表を聞いておりましたが、実に多くの欧米人が史野先生の論文を引用しているのを見て、随分と勇気づけられました。当時、史野先生は世界に先駆けて同種腱による前十字靱帯（ACL）再建手術の優れた成績を報告されており、改めて先生の国際的な高い評価を実感しました。

講義を受けられた皆さんには、史野先生がよく「要するに・・・」とおっしゃっていたのを覚えておられると思います。一緒に仕事をさせていただく中で、先生の驚異的な記憶力とともに膨大な知識を論理的に整理される能力、さらにそれらを基に革新的な技術を創造され続ける力にいつも敬服しています。

府立大学で再びご一緒させていただいた時から、史野先生が受け持たれたリハビリテーション医学の中で「ACL再建術後のリハビリテーション」を紹介してきました。正直に申し上げますと、この講義のお手伝いはかなりのプレッシャーでした。この時に限ってPCがフリーズしたり、「スライドが見にくいなあ」などのダメだしが出ると、全身に汗が噴き出し、生きた心地がしませんでした（笑）。

史野先生の他の追随を許さない臨床、研究のお仕事は世界中の尊敬されていますが、先生の回りに多くの方々が集われるのは、お人柄によるところも大きいと思います。随分昔に教えていただいた「やられて嫌だったことはするな」という人生訓は、今後も座右の銘にしていきたいと思います。

最後に史野先生が国際的なお仕事を数多くしてきた背景には、理学療法学科教員の皆様による御支援も大きかったと拝察し、改めて敬意を表したいと思います。

今後の史野先生と理学療法学科のますますのご発展を心より祈念しております。

# 今後の研修会について

研修会は年1回の開催となりました。  
次回は2012年秋頃に開催予定です。

第16回卒後研修会には、多数の方にご参加頂き、誠にありがとうございました。研修会の際に、ご協力頂きましたアンケートの結果や今後の研修会についてご報告させて頂きます。

史野先生のご講義に対する感想では、「手術の詳細な内容を学べたことで、理学療法を行うまでのリスク管理などを改めて学び考え直すことができた。さらに医療人としての心構えを教えて頂けた。」など多くの感想を頂きました。小柳先生のご講義に対する感想では、「先進の研究結果や画像などを用いて非常に分かりやすかった。」などの多くの感想を頂きました。

研修会の希望日時は、土曜日の午後が一番多く、次に日曜日の午前・午後の順で希望がみられました。開催場所は、大阪市内での希望が多数みられました。希望内容は、中枢疾患に対する講義や実技講習、整形疾患や運動連鎖などの意見が散見されました。

過去の研修会では、呼吸、循環、高齢者の転倒予防、中枢疾患に対する実技講習、スポーツ傷害などテーマに開催致しました。今後の研修会は、皆様の意見から中枢疾患・整形疾患などや、役員会で拳がった癌リハ、心臓リハ、地域リハなどを検討しております。次回の研修会は、役員会での会議の結果、地域リハをテーマと決定致しました。2012年の秋頃に開催を予定しておりますが、具体的な日時や講師が決まり次第、追ってご連絡させて頂きます。今後も卒後研修会への積極的な参加を宜しくお願ひ致します。

学術部 佐野 祐樹（学部2期生）

## 会費納入のお願い

竹羽会の運営は、会員の皆様から収めて頂く会費によって支えられています。未納入の方は是非ともお收め下さい。

なお、会費は永久会費で20,000円となっております。たいへん大きい金額ではございますが、勉強会開催などの費用に割り当てる大切なお金です。よろしくお願ひいたします。

### ＜郵便振替口座＞

振替口座：00910-7-223456

加入者名：竹羽会

・研修会場で直接納入して頂くことも  
可能ですので、よろしくお願ひ致します。



- ・振込手数料はまことに恐縮ですが  
ご負担をお願いいたします。
- ・必ず振込み者の氏名と期数を入れて下さい。  
例：「リガク ハコ ガケ 1」「リガク タウ フダ 12」
- ・ATMからも振込みができます。  
(専用の用紙をお渡しします)

竹羽会「永久会費」に関するお問い合わせは  
下記までお願ひします。

財務部：植木 晶子（府大1期生）

（みどりヶ丘病院リハビリテーション部）

連絡先TEL：072-681-5717（代表）

072-681-5975（リハ直通）

E-mail：rihabiri@midorigaoka.or.jp

## 編集後記

この度は小柳先生に原稿をお願いし、史野先生とのエピソードを交えたお話を読ませて頂く  
ことができました。小柳先生、ご協力ありがとうございました。（藤堂＆重井）



## お問い合わせ・連絡先

事務局：赤井 友美（8期生）

〒632-0001 奈良県天理市中之庄町470 奈良東病院 リハビリテーション科

TEL：(0743) 65-1771 FAX：(0743) 65-4157 E-mail：tomoa\_a3335@yahoo.co.jp

所属の変更等がございましたら、  
こちらまでお知らせ下さい。